

養父市教育（学校園所）のあり方検討委員会

# 養父市の教育について

令和7年6月27日（金）  
養父公民館

# 養父市の教育：教育の不易と流行

学校教育の使命：社会性の育成  
社会性とは、自他の相互承認の徹底的自覚

不易：学力の向上

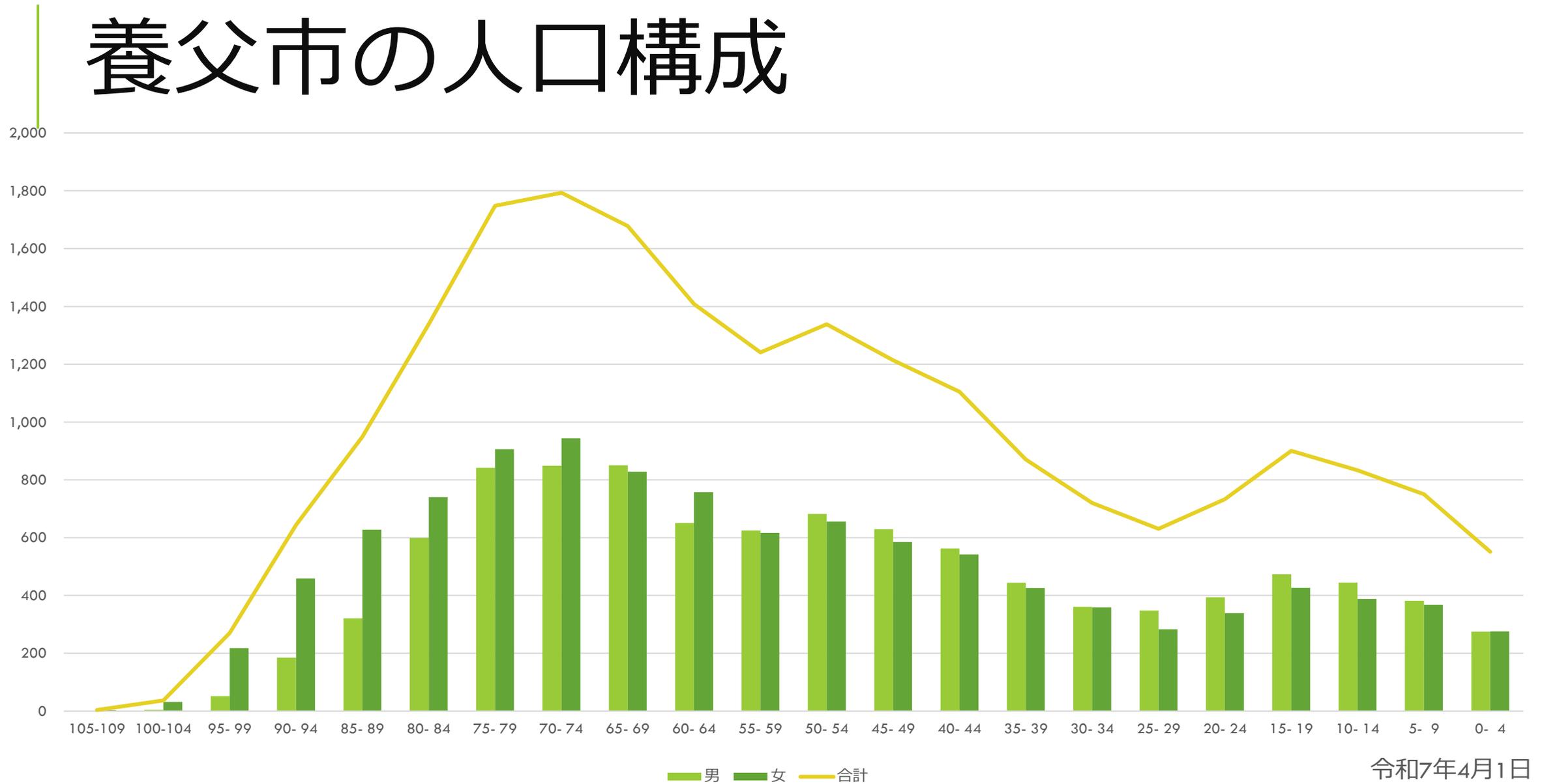
流行：地域とともにある

魅力と力のある学校づくり

■ これからの学力(基礎基本の定着+VUCAの時代を生き抜くために)

- ・ 読解力、対話力、レジリエント力、地域貢献力、デジタル活用力  
(AI×データ活用力)

# 養父市の人口構成

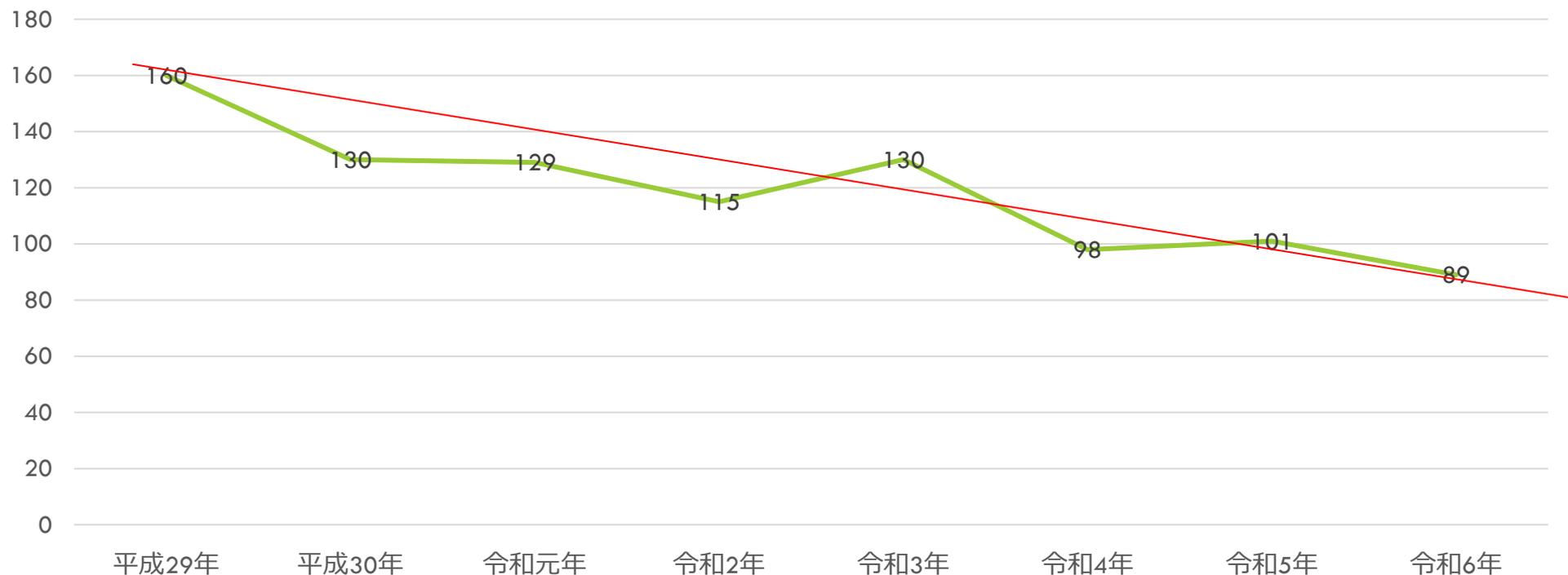


令和7年4月1日

児童数の推移	1973年	1983年	1993年	2003年	2013年	2025年	2031年
(現在の校區別)	昭和48	昭和58	平成5年	平成15年	平成25年	令和7年	令和13年
<b>養父小</b>	284	258	207	156	122	56	26
<b>広谷小</b>	406	393	302	261	211	174	174
<b>建屋小</b>	223	203	132	139	39	51	22
<b>大屋小</b>	557	448	367	237	164	89	59
<b>関宮前期</b>	451	412	376	254	173	121	61
<b>高柳小</b>	142	204	213	97	108	80	56
<b>八鹿小</b>	653	734	510	345	284	252	215
<b>伊佐小</b>	185	146	154	178	115	70	56
<b>宿南小</b>	89	102	72	55	40	25	20

# 養父市の課題

養父市		出生数						
平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
160	130	129	115	130	98	101	89	



# 養父市の学校～小中学校、義務教育学校、こども園、保育所～

令和7年4月1日現在

## 小学校（8校）

学校名	児童数（人）
養父小学校	56
広谷小学校	174
建屋小学校	51
大屋小学校	89
高柳小学校	80
八鹿小学校	250
伊佐小学校	71
宿南小学校	26

## 中学校（3校）

学校名	生徒数（人）
養父中学校	171
大屋中学校	61
八鹿青溪中学校	203

## 義務教育学校（1校）

関宮学園	生徒数（人）
前期課程	123
後期課程	66

## こども園・保育所（11園・所）

認定こども園・保育所名	5歳児数（人）
宿南こども園	4
伊佐こども園	8
三谷こども園	7
広谷こども園	27
養父こども園	7
大屋こども園	12
関宮こども園	10
童和こども園	6
日光認定こども園	24
たいようこども園	28
小佐保育所	1

養父市学校施設等位置図

関宮学園校区  
1 高校・1 学園  
1 こども園

八鹿青溪中校区  
2 高校・1 中学校  
4 小学校  
5 こども園・1 保育所

大屋中校区  
1 中学校・1 小学校  
1 こども園

養父中校区  
1 中学校・3 小学校  
3 こども園

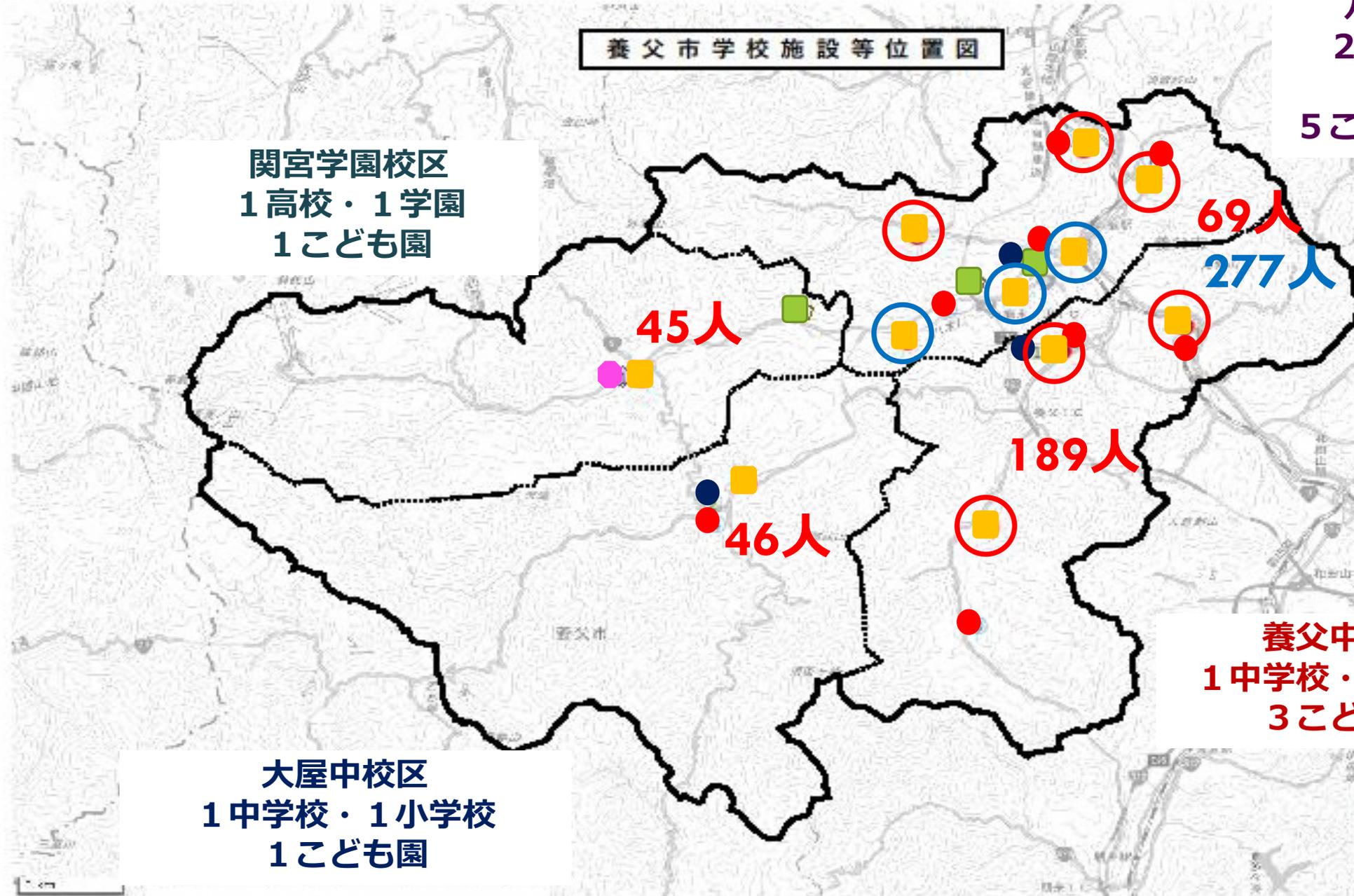
- こども園
- 小学校
- 中学校
- 義務教育学校
- 高等学校

45人

46人

189人

69人  
277人



# MATERIAL

- ・ 個人情報もあります。
- ・ 部外秘、取扱注意

# 教職員の資質能力と意欲の向上

## ～誇りと自信と力のあるプロの教職員集団の育成～

### 1 「先生」に求めること

- ・使命：児童生徒への「**自他の相互承認の徹底的自覚**」の育成
- ・養父市の特色ある教育の推進力、行動力、発想力
- ・指導力、発信力、求心力、デジタル学習基盤の活用力
- ・たくましさや愛と情熱
- ・健康な心と体、明るさやつながり力、主体性
- ・好奇心、探求心、読書

### 2 現在の状況と課題

- ・管理職の目標提示と危機管理ができている。
- ・教職員集団として、学校目標の具現化をめざして教育活動に取り組むことができる。
- ・研修目的が明確に設定され、**WPL**※が実現している。
- ・危機に組織で対応できる。
- ・他市町からの評価：仲が良い、明るい

※WPL：組織全体で取り組む学習方法。学習したことを実際の現場で生かす仕組みを作り、組織力の向上につなぐ

#### 「YABUスクール・チャレンジ」

- ・学校の課題や児童生徒の状況を十分に把握・検討し、主体性をもって熟議したうえで、全職員で学校のため、子どもたちのために取り組みたいこと、挑戦したいことを教育委員会に提案する。
- ・教職員が学校課題等について当事者意識をもって熟議を行うことを最も重視し、教職員の主体性と、学校づくりへの参画意識と意欲を醸成する。

#### 「Education Pallet」

- ・教職員の資質向上と授業力・指導力の向上をめざし、電子書籍と講師による直接指導の機会を提供する。講師招聘は、年間3校。

#### 「授業改善実践研修」

- ・講師を迎え、小中一貫での授業研究を実施。先生方の設定したテーマで研修を行う。

#### 「やぶ・ふるさとキャリア教育 研究チーム」

- ・「やぶ・ふるさとキャリア教育」の研究を核にした研究推進チームを組織し、養父市の小中一貫教育について交流、深化させる。

### 3 めざす子ども・教職員・学校の姿

#### ・**たくましい子ども、たくましい教職員、たくましい学校**

- ・自律的に学ぶ自信をもち、発信力と語る力をそなえた子ども・教職員



- ・「先生」の授業、指導、姿
- ・「先生」が主体的に協働・参画する、養父市の教育と学校

# スクールDX

## ～「子どもが主役の学び」の実現～

### 1 これからの授業に求めること

- 主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びの実現
  - 探求活動、直接体験、つながる学びの実践
  - 多様性を包摂し、可能性を開花させる授業づくり
- 
- デジタルの力を活用し、リアルな学びを支える

### 2 現在の学校の状況と課題

- デジタル基盤を活用した授業づくりに取り組んでいる。
- 学校間、教師間格差ができてつつある。
- 一人1台端末を十分に使いこなすことができる、さらなる環境整備が必要
- 子どもたちの「学び方」が従来と変化していない。
- 主体的に学びに向かうことができている子ども、学校での学びを選択しない子ども、従来の教室での学びに適応できない子どもの存在の増加

### 養父市の教育：教育の不易と流行

**学校教育の使命：社会性の育成**  
社会性とは、**自他の相互承認の徹底的自覚**

不易：学力の向上  
流行：地域とともにある  
**魅力と力のある学校づくり**

- これからの学力(基礎基本の定着+VUCAの時代を生き抜くために)
- 読解力、対話力、レジリエント力、地域貢献力、デジタル活用力 (AI×データ活用力)

### 3 めざす子ども・教職員・学校の姿

- **たくましい子ども、たくましい教職員、たくましい学校**
  - 自律的に学ぶ自信をもち、発信力と語る力をそなえた子ども・教職員
- 

- 授業改善による授業と学校の包摂性の向上
- 学びの楽しさのある授業の実現
- コミスクを本物にする

八鹿青溪中校区  
リーディングスクールDx  
事業の活用

# ほっとkukuna+クローバーkukuna

～「共育」を創る・民主的かつ公正な社会基盤としての学校(子どもの居場所)を実現する～

## 1 これからの学校に求めること

- 主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びの実現
- 探求活動、直接体験、つながる学びの実践
- 多様性を包摂し、可能性を開花させる授業づくり
- 公正性を発揮できる学習環境づくり

## 2 現在の状況と課題

- 平等性 > 公正性
- 教職員の考え方による指導の格差
- 主体的に学びに向かうことができていない子ども、学校での学びを選択しない子ども、従来の教室での学びに適応できない子どもの存在の増加
- 地域・保護者の従来の学校への期待感と固定概念の払拭と転換が必要
- 教職員の教育の平等性への既成概念の転換が必要

## 流行: 「地域とともにある魅力ある学校づくり」

コミュニティ・スクール2.0→3.0=共同養育社会の実現

- CS1.0: していただく、してあげる
- CS2.0: 共創の関係=ともにする
- CS3.0: 自創・自走が始まる=自らする

- デジタル技術の活用
- 女性活躍の推進、子育て環境の充実
- 社会的処方への推進

「ヒト・コト・モノからの直接の学び」+  
直接体験、Hand Onで知覚を鍛え上げる  
→事実に基づいて「在りたい未来」を無限大で考え、想像・創造する

- 格差のない社会を創りたいと考え、行動する力
- 自身の思いを言葉として伝え、表現する力
- 自分の個性と希望を具現化できる、未来を見通す力
- 一人ひとりが支え合い、豊かな相互作用を生み出したいと感じ動き出す力

## 3 めざす子ども・教職員・学校の姿

- たくましい子ども、たくましい教職員、たくましい学校
- 自律的に学ぶ自信をもち、発信力と語る力をそなえた子ども・教職員
- とともに育つ共生社会のコミュニティリーダーとしての学校の実現
- コミスクと共同養育社会の意識の浸透
- 「学びがあふれる教育環境」の具現化に向けた学校の活用

- ★公正な学びを考える
  - 就学援助(R6末) 55件77人 5%
  - ヤングケアラー 累計10件
  - 30日以上欠席者 58人 (R7 3月末) (市内小中義務教育学校)
  - 外国籍の方 126人 (R5年度)
- ★学校
  - ヒトとモノによるコト(体験)で救うことができる最終地点。

# 子どもを地域へ・部活動の地域展開

～放課後活動の多様性と持続可能性の確保＋量でなく質の働き方改革の実現～

## 1 養父市の部活動の地域展開に求めること

- ・子どもたちの放課後活動の持続可能性の向上
- ・子どもたち・市民への多様性と包摂性のある活動の場の提供
- ・教職員の働き方改革

- ・地域の文化スポーツ活動の活性化＝社会的処方への推進
- ・地域で活躍する子どもたちの育成＝社会貢献力の実践

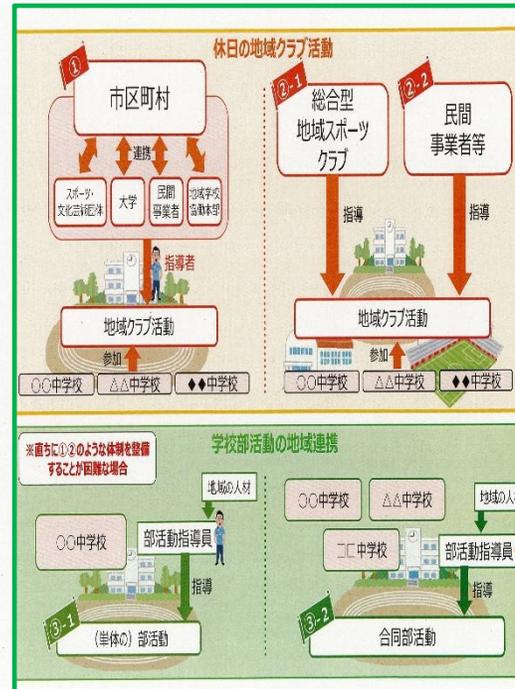
## 2 現在の状況と課題

### 【部活動の地域展開に向けた取組】

- ① 合同部活動
- ② 部活動指導員
- ③ 「中学生の地域活動参加支援金」
- ④ 「中学生のための養父市地域クラブ補助金」
- ⑤ 持続可能な地域クラブの掘り起こし・創設依頼

### 【課題・推進事項】

- ・教職員の兼職兼業、高校との連携、企業との連携
- ・保護者と生徒の理解と地域の認知度の向上
- ・教職員の働き方改革の目的の理解と質的向上
- ・明確なタイムテーブルと方向性の周知



## ＜養父市の方向性＞

- 社会的処方の視点を生かす
- 地域移行・地域連携ハイブリッド方式を継続
- ☆令和10年10月を目途に学校部活動を終了する

### 【学校】

#### ◇休日

- ・兼職兼業等により指導を望む場合を除き、原則、教職員が従事しなくてもよい環境づくりをめざす。当面の間、教員の指導による合同部活動等現状を継続する。

#### ◇平日

- ・当面の間、学校部活動を継続する。  
(合同部活動・部活動指導員の活用)

### 【地域・保護者へ】

- ・地域クラブ創設への理解と参画を進める。

## 3 めざす子ども・教職員・学校の姿

### ・たくましい子ども、たくましい教職員、たくましい学校

- ・自律的に学ぶ自信をもち、発信力と語る力をそなえた子ども・教職員

- ・「子どもと向き合う時間の確保」→「向き合う時間の質の向上」

効果：主体性のある「プロの教職員」の育成（今まで以上に学習指導等の質の向上が求められる）

- 授業の質的向上、指導力の向上、いじめ・不登校への適切な対応＝信頼ある学校
- 研修時間の確保（WPLの向上）

# 特色ある小中一貫教育

## ～「不易:学力の向上」を実現する直接体験と学びのつながり～

### 1 小中一貫教育に求めること

- 「養父・ふるさとキャリア教育」の再構成と目的の明確化
- ①「何を学ぶか」→「何ができるようになるか」の明確化  
→「どのように学ぶか」の再構成
- ②幼小中のこどもの認知機能と発達を捉えた「学びの階段」の見える化＝学びの重複をさせない連携（かけはしプログラム）

### 2 現在の状況と課題

- 幼小中連携の意識の浸透（目的は学力向上）
- 小中一貫での具体的な取組が継続できている。
- 小中の指導及び教職員同士の相互理解が進んでいる。
- 養父市の課題→「思考力・判断力・表現力」の育成
- 教職員の小中連携にかかる幼→小へのスムーズなつながりと育ちを足踏みさせないカリキュラムの構築への教職員の再認識が必要
- 校区ごとの特色づくり（教職員の意欲を高め児童生徒の学力の向上に貢献できるもの）が必要

### 不易：「学力の向上」+だれ一人取り残さない

対話力、読解力、地域貢献力、レジリエンス力、デジタル活用力（AI×データ活用力）

《これからのDX時代に必要な力》

他者との協働  
新しい価値の創造  
主体性をもって課題に取り組む力

STEAM教育の研究、主体性の育成  
デジタル活用力の向上、体力の向上

- 学校に行く気力と意思・体力と耐力、楽しみと期待感を育む  
＝学びと社会を楽しむ・自分への誇り+レジリエンス→たくましさ
- 自尊感情を育む＝（個性と学びに）居場所がある+アサーション
- 教師・友だち・多様な大人との信頼関係+絶大なる支援を一人一人に注ぐ
- ※事案へのチームとしての対応（SOSをチャンスと捉える）WPL

- 選択できる学び＝ほっとステーションKukuna+クローバーKukuna、特認校
- 3年目「YABUスクールチャレンジ」
- 一人1台端末の文房具化+個性に合った学び+主体的な学び（遠隔授業の日常的な活用、ELSA、Education Palette、デイズー図書）
- STEAM教育→やぶ・ふるさとキャリア教育研究チーム（保幼小中高連携）
- ねるねる・でるでるウィーク、運動遊びの日常化

《具体で育てる》

### 3 めざす子ども・教職員・学校の姿

#### ・たくましい子ども、たくましい教職員、たくましい学校

- 自律的に学ぶ自信をもち、発信力と語る力をそなえた子ども・教職員
- 校区ごとの明確な目標を設定した取組の実践

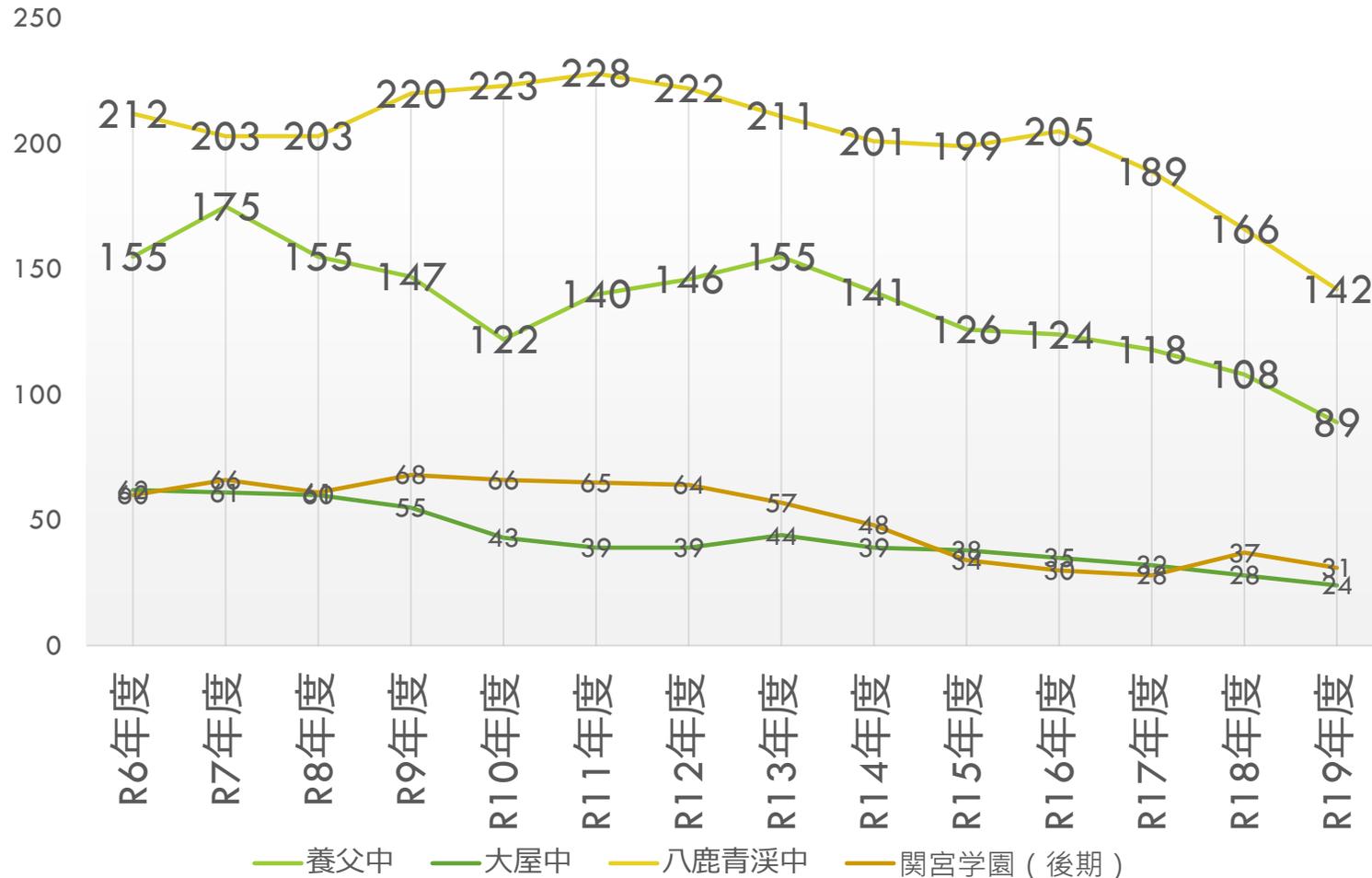
- 例) 養父中校区：外国語教育
- 大屋中校区：体育（幼小中連携+体づくり）
- 関宮学園：学力向上・道徳教育
- 八鹿青溪中校区：スクールDX

やぶ・ふるさとキャリア教育  
からの小中一貫教育の再構築

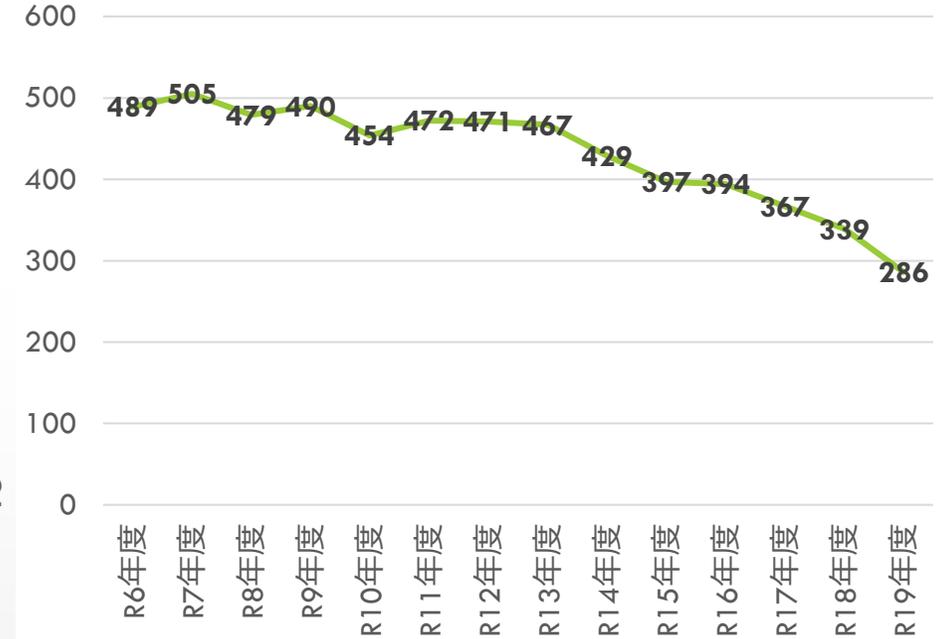
# 部活動の地域移行→部活動の地域展開

## ■今後の見通し(生徒数)

中・後期課程の生徒数の見通し



養父市内の生徒数の見通し



# 部活動の地域移行→部活動の地域展開

## ■ 部活動の目的・意義

### 学習指導要領

「部活動は、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるようにすること」

- ・ スポーツ・芸術の幅広い活動の機会
- ・ 集団での活動を通じた人間形成の機会



中教審答申 平成31（2019）年

「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」  
学校単位→地域単位へ

## ■ 今後の方向性

令和10年10月を目途に学校部活動を終了する



- ①多様性と持続性が高まる
- ②子どもたちの主体性が育まれる
- ③卒業後も継続が可能

### 《課題》

- 理解と周知を図ること
- 地域クラブの創設
- 予算の確保

## ■ 背景と現状

- ・ 生徒数の減少による選択肢の減少
- ・ 活動そのものの維持が困難
- ・ 教師の働き方改革
- ・ 地域とともにある学校づくり

### 《養父市内の部活動の状況》

	野球		ソフトボール	バレーボール	バスケットボール		ソフトテニス		卓球		吹奏楽	ボランテニア	陸上競技	スキー
	男	女	女	男	女	男	女	男	女	男・女	男・女	男・女	男・女	
養父	○	○	○	○		○		○		○	○	○	○	特設
大屋	○			●						○	●		○	特設
関宮	○				○	●					●		○	特設 特設
八鹿青溪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	特設 特設

# 【学校部活動の地域展開】 養父市中学生スポーツ・文化芸術活動推進計画（概要）

（養父市中学校部活動推進委員会）

**経緯** 養父市では、スポーツ庁・文化庁の「部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」をもとに学校部活動のあり方について協議を行い、中学生が新たに地域で活動する環境づくりをするための推進計画を策定

**目的** 中学生がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる環境づくり

**めざす姿** 生徒 多種多様な活動に参加でき、多様な価値観に触れて学びを深める  
地域 多世代の交流によりコミュニティの絆を強化する

**市の方針** 令和10年度(2028年度)10月\*を目途に「学校部活動」を終了し、中学生のスポーツ・文化芸術活動を地域に展開する

（養父市中学校部活動推進委員会）

\* 運動部は中学校総合体育大会終了時、文化部は学校ごとに決定(最大限11月末)

- 地域の中で…
- 人とつながる
  - 自分の居場所をつくる
  - 役割を持つ

## 社会的処方<sup>①</sup>の推進

**多種多様な分野・種目の展開**  
部活動の種目にとらわれず、子どものニーズに応じた活動を展開

**多世代の仲間と一緒に**  
中学生に限定しない参加範囲の地域クラブ活動を推進

**学区を超えて様々な地域の仲間と**  
中学校区を超えた関わりを推進

**複数種目の活動機会も**  
様々な文化やスポーツに親しむチャンス、身体的な身体能力の向上

持続性  
×  
多様性

**多様な地域クラブの運営をサポート**  
活動の開始活動、学校施設開放の拡大

**クラブ指導者としてチャレンジ**  
地域の方が指導者にチャレンジしやすいクラブ運営の促進

**生涯文化・スポーツ活動へ**  
引継の機会を取り払い、生涯活動できる環境の構築

**健康な身体づくりへ**  
競技スポーツと健康スポーツ、生涯にわたって取り組むきっかけ

## 「生涯学習への一歩」

### 地域展開スケジュール

国・県	ガイドライン・推進計画				
年度	令和5年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国が方針	改革推進期間		改革実行期間 (前期8'10年度 後期11'13年度)		
推進計画	準備期間	実行期間	実施を目標とするが、地域の実情に応じて、可能な限りできることから早期に実施		

スポーツ庁 部活動改革  
 文化庁 活動改革  
 県部活動地域移行推進計画

市	地域展開に向けたスケジュール				
年度	令和5年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中学校	学校部活動(～令和10年9月末)				
児童・生徒 親族・地域	地域活動について知る	クラブ活動 参加検討	10月以降 地域クラブ 活動開始		
クラブ	募集(HP・広報)・承認・先行実施				

市	小学校各学年スケジュール					
学年	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
46	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始
45	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始
44	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始
43	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始	部活動開始

## 学校部活動改革の必要性(背景)

### 少子化

少子化の進展により、学校では多人数で行う種目の活動が難しくなり、また、生徒の減少に伴う教員数の減少により部活動の継続の確保ができなくなってきている。学校部活動をこれまでと同じ体制で運営することは困難になるため、養父市の現状を踏まえて持続可能な体制の構築が求められる。

### 子どものニーズの多様化

本市は、学級編制によって部活動活動数に差があり、スポーツ・文化活動機会の格差が見られる。小・中・高学年に実施した「スポーツ・文化芸術活動」のアンケート結果では、多くの小学生が取り組み、中学生にも取り組めたいと考えている水泳、ピアノ、書道、ダンス、サッカーなどの種目は、現在養父市内の学校部活動にはない。また、現在スポーツ・文化芸術活動に取り組んでいない児童に対して、中学生になってから取りたい種目を聞くと、学校部活動にはないバドミントン、美術、パソコン、ダンス、サッカーなどと回答する児童も多い。子どもたちのスポーツ・文化芸術活動に対するニーズが多様化しており、既存の学校部活動の種目だけでは、応えることができていない。



### やぶ地域クラブ(仮称)実施体制



☆やぶ地域クラブ(仮称)の名称募集☆  
地域クラブの名称を募集します。多くの応募をお待ちしております。【応募期限：令和7年5月30日(金)】

### 地域の方へ

**【地域クラブ募集】**  
養父市では、学校部活動の地域展開に向け、中学生が活動できるクラブを募集しています。

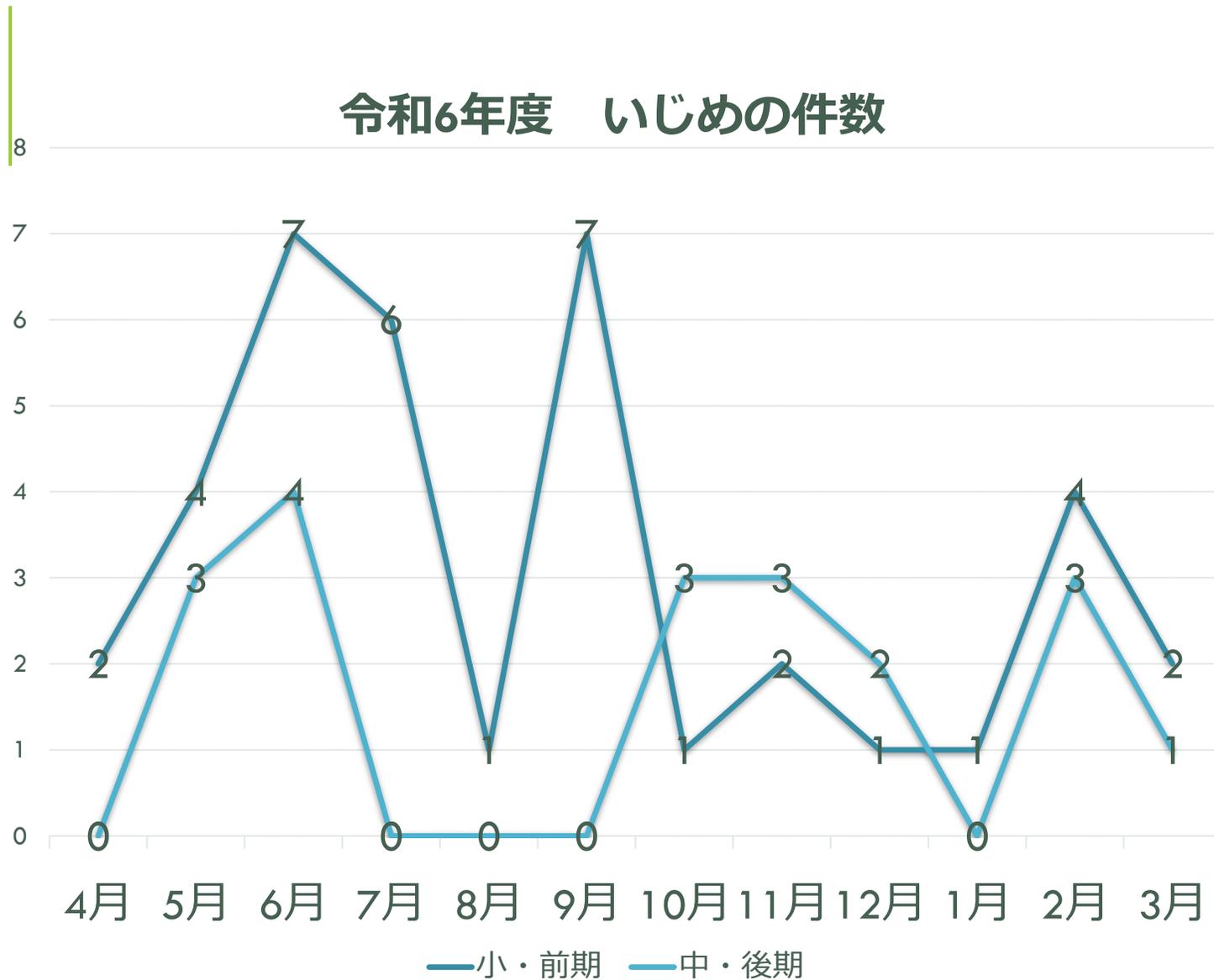
養父市では、令和10年度までに地域で中学生が多種多様なスポーツ・文化芸術活動のクラブに参加できる環境を整えることをめざします。クラブを創設したり既存のクラブを「やぶ地域クラブ(仮称)」に登録したりはしません。現在ある学校部活動の種目も歓迎します。学校部活動と同じ活動日数、時間帯でなくても良いです。また、令和10年10月以降の完全届報後は、学校施設開放の拡大も検討します。クラブの募集については、市HP「やぶ地域クラブ(仮称)募集」をご覧ください。



# いじめ・不登校を考える

## 養父市の状況

令和6年度 いじめの件数



R6の情報源

- ・アンケート
- ・保護者から
- ・友だちから
- ・教師の観察

(様子の変化、現場)

# いじめ・不登校を考える

## 養父市の状況

### いじめの原因 (小・前期)

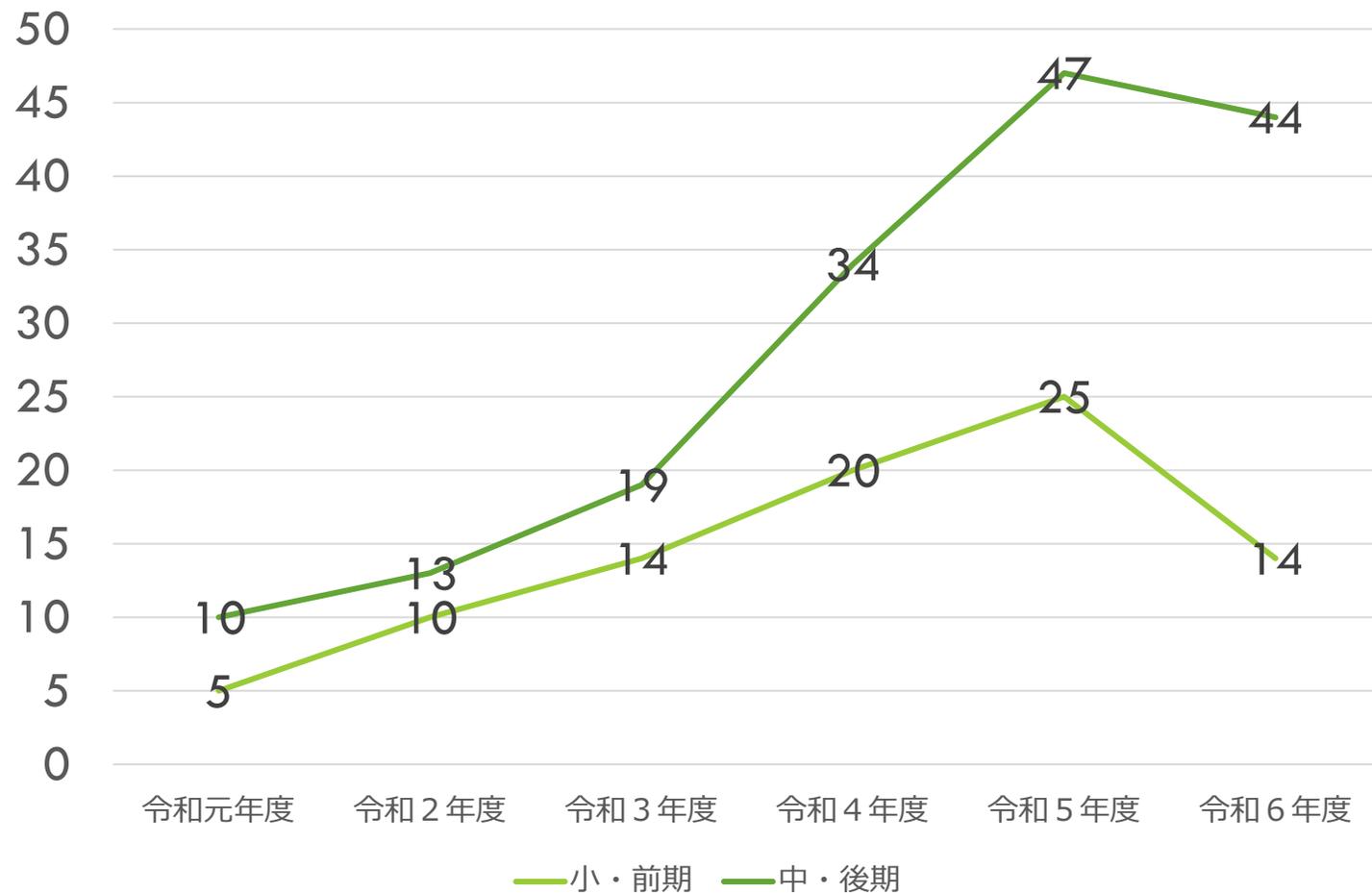
いつ?	自然学校	休み時間	登下校のバス	更衣中	掃除中					
冷やかし・からかい	くさい	あだ名	無視	茶化す (消しゴム食べたらおいしいで)	どいて	デブ				
嫌なこと	ズボンをずらされる	縁を切る					いじめとは何か、を教えること ・アサーショントレーニング  ○発達段階に応じて ○アンケートの時期 ○情報を読み解く感覚			
仲間外れ	話しかけるな	来るな	仲間に入れない	あっち行って						
叩かれる・蹴られる	カンチョー	椅子を引く	首を絞められる	蹴る・叩く	転ばせる					
金品関係	靴隠し	靴を踏む	消しゴムなどを盗られる							
SNS										

### いじめの原因 (中・後期)

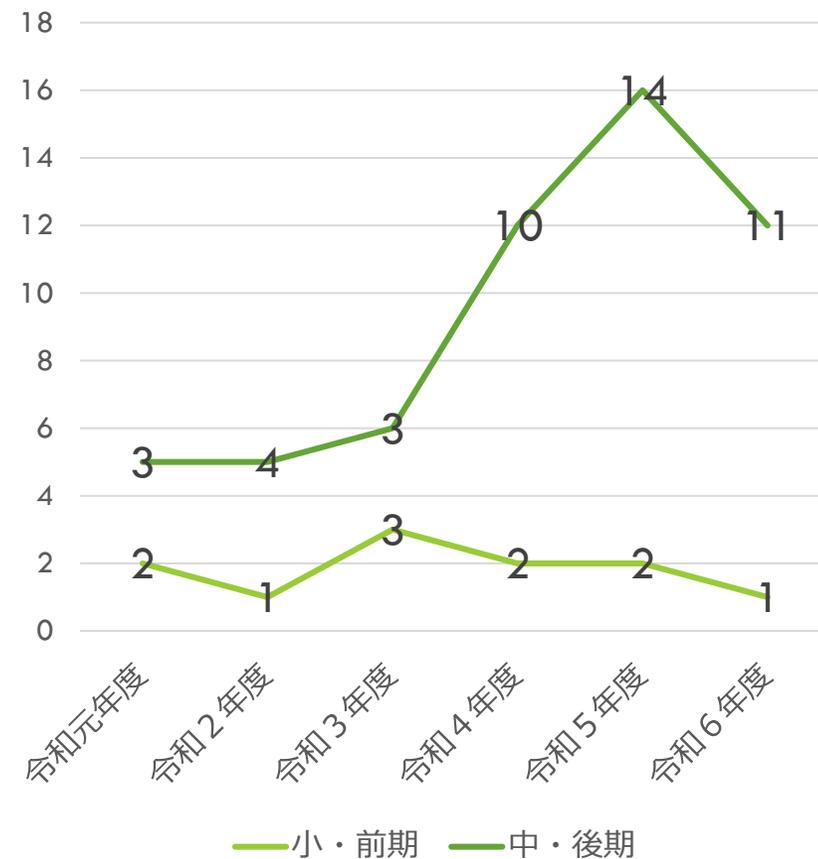
いつ?	休み時間	部活中							
冷やかし・からかい	前髪	あだ名	手紙	死ね	バカ・デブ	頭が悪い	容姿を笑う	無視	ストーカー
嫌なこと	菌がうつる	汚い	つけまわす						
仲間外れ									
叩かれる・蹴られる	頭を叩く	ぶつかる	蹴られる						
金品関係	文房具を盗られる	自転車の鍵							
SNS	ありもしないことを上げる	写真を加工して上げる							

# 不登校を考える 養父市の状況

## 30日以上の欠席者数（人）



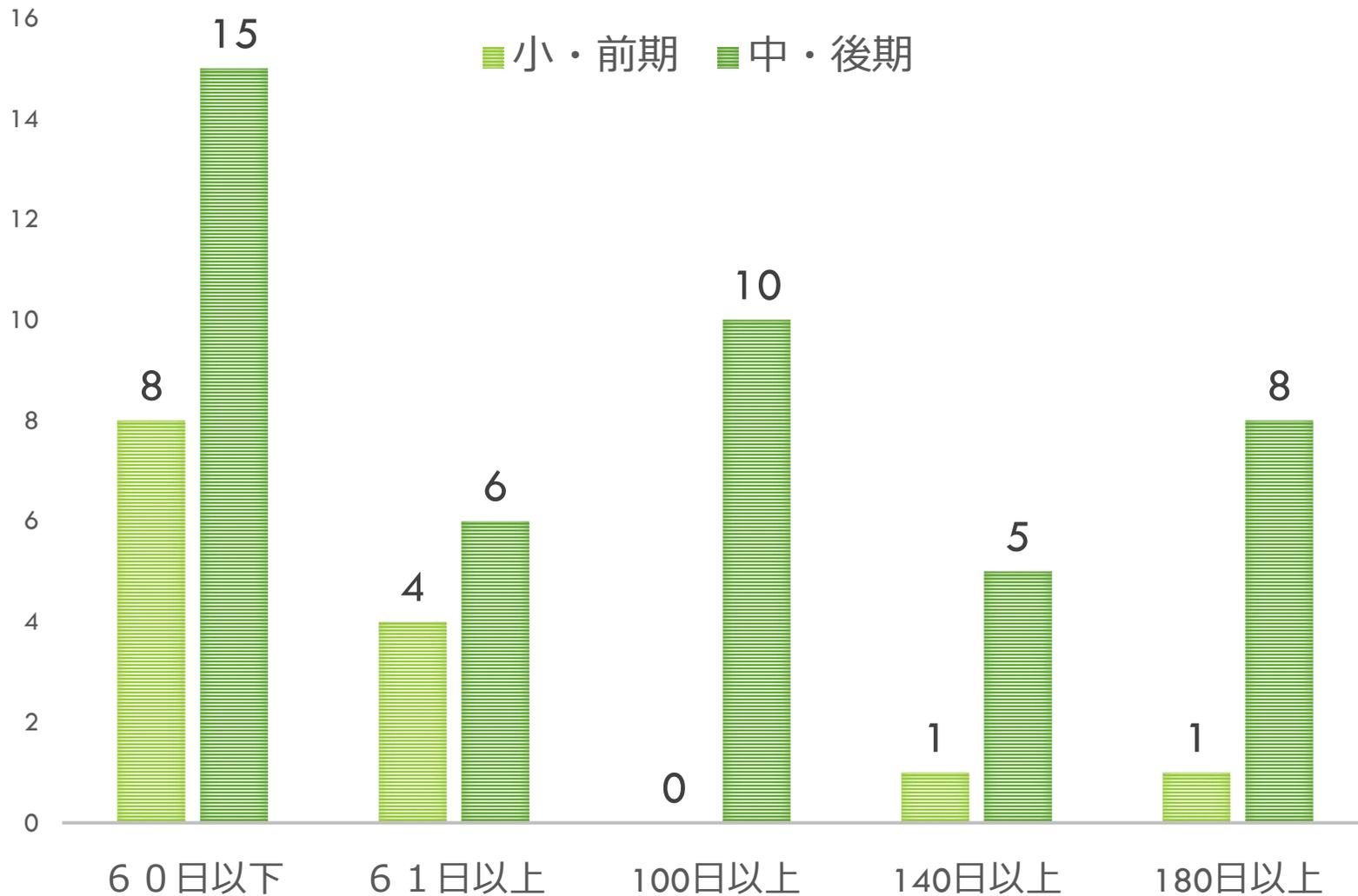
## 病欠の児童生徒数（人）



# 不登校を考える

## 養父市の状況

令和6年度 30日以上欠席の状況（人）



■何が問題か  
「教育の使命として」  
・ 社会性の育成  
= 自尊感情の育成



自分の将来を支える力の育成

- ・ 子どもが主語の学校
- ・ 「子どもたちのWell-being」  
= 子どもを信じる、こどもまんなか  
→ だれ一人取り残さない



学校の発想を変える  
= 地域の発想を変える  
学校ができることをやる  
= 地域と一緒にやる



「子ども第3の居場所」  
ほっとステーション

# だれ一人取り残さない

自立をめざす・社会的処方からの視点から

## 《kukunaを核とした連携のある取組》

- 1 不登校児童生徒支援員について
  - ・kukunaとの合同研修会の実施
  - ・所長・職員による情報共有と巡回相談の実施
- 2 児童生徒への対応について
  - ・通信の配布
  - ・家庭訪問
  - ・アウトリーチ支援
- 3 学校との連携
  - ・所長・職員による学校訪問
  - ・日々の児童生徒に係る情報共有
- 4 家庭との連携
  - ・親カフェの実施
  - ・心理士による相談会の実施



## 《養父市の重点施策》

- ・ **社会的処方の推進**
  - ・ デジタル技術の活用
  - ・ 女性活躍の推進と子育て支援の充実
- ↓
- ・ **ポジティブヘルスの活用**
  - ・ **コミュニティナースの活用**

### 《コミュニティ・スクールとは》

- ・ **学校運営協議会**を  
設置している学校
- ・ **課題の共有**  
→ **学校の共用化・複合化**

学校や子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのか、目標やビジョンを保護者や地域の皆さんと共有し、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちを育む仕組み



### 「学びがあふれる教育環境」

養父市まちづくり計画

基本的な施策 1 - 3



不易：学力の向上

流行：地域とともにある

魅力と力のある

学校づくり



# 子どもたちと向き合う時間の確保＋働き方改革

## 来年度からの働き方改革 = 子どもと向き合う時間の充実

### 1 目的

- ・ 働き方改革（より良い授業づくりのために、量<質へ）
- ・ 標準授業時数を目途とした教育課程の編成
- ・ 子どもたちの主体的活動時間の保障（放課後）

### 2 提案

- ・ （毎週）水曜日を、「（仮）スーパーそうあんくんの日」にする  
→ 各校の実態に合わせて実施
- ・ 学期末、学期始めの時間割を緩やかに（ゆっくりスタート）  
→ 不登校対策



各校の取組の情報交換

### 3 原則として

- ・ 給食は、できるだけ食べる

# 働き方改革 8月25日、2学期スタートの継続

## 《8月の学校生活は気を遣うことが多い》

### ■ 気温の高さ

#### ① 登下校

- ・ 広谷小学校  
十二所 30分  
上野 30分（保護者が送迎）
- ・ 高柳小学校  
下八木 23分

#### ② 遊び場所

- ・ 運動場が使えない
- ・ 暑い体育館

## 《長期休業日に懸念していること》

### ■ 児童生徒の状況

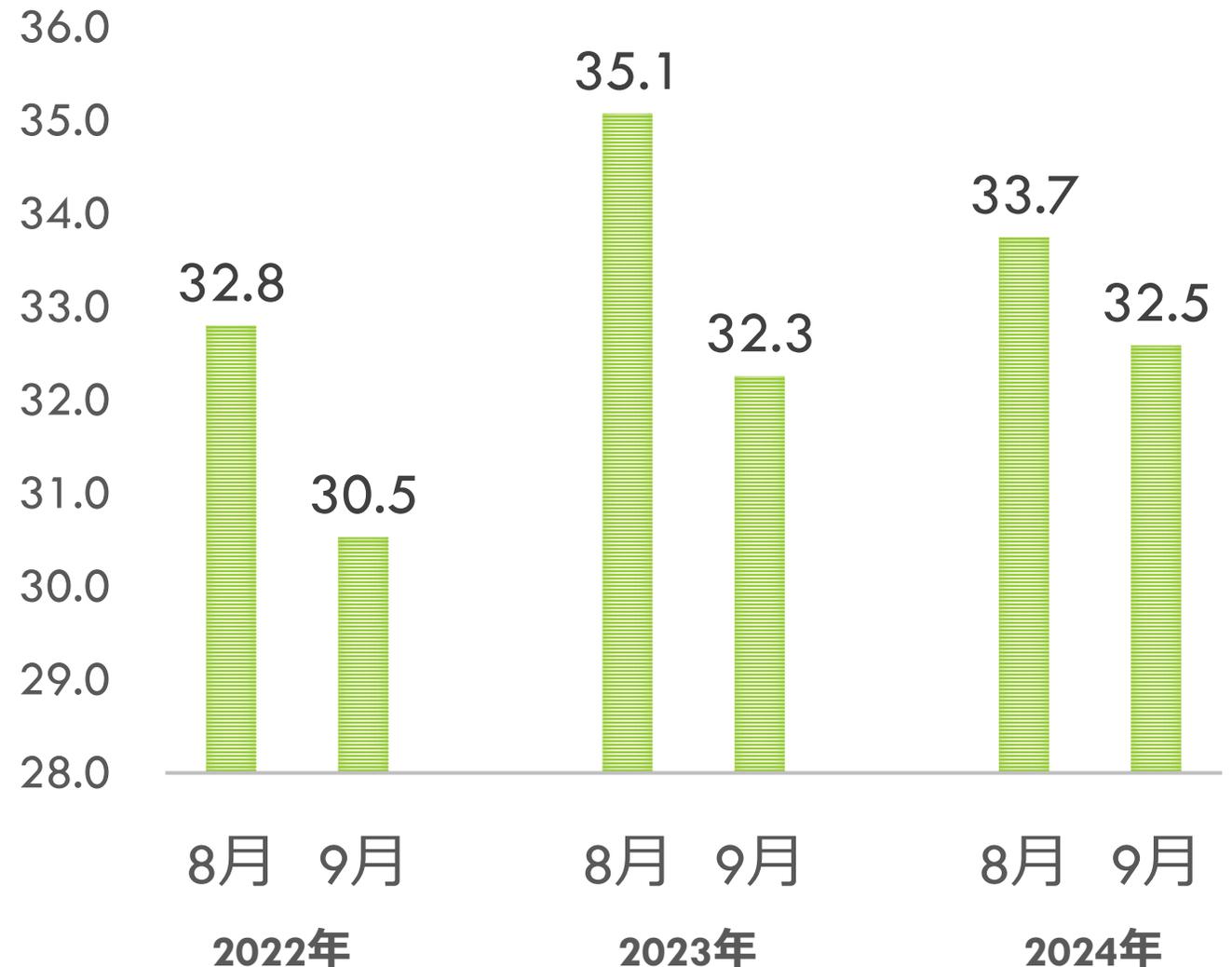
#### ① 学童の夏期休業中の高利用率

- ・ 多様な対応+大人数の利用
- ・ 指導員の不足

#### ② 要支援児童の長期の家庭生活

- ・ 虐待
- ・ 長期休業明けの児童生徒の登校への不安感

2022～2024年の気温



年 月日	2022年		2023年		2024年	
	8月	9月	8月	9月	8月	9月
1	38	27	38.1	32.9	34.5	31.4
2	37.3	27.9	37.4	31.5	36.5	32.4
3	35.9	27	37.5	34.6	37.7	31.4
4	35.4	35.3	38	32.5	34	31
5	33.4	35.6	39.4	34.8	34.2	33.7
6	35.2	32	38.8	29.8	34.3	34.2
7	36.1	28.9	35.1	29.7	32.4	34
8	35.3	27.4	37.2	28.2	34.4	31.8
9	36.3	25.2	37.5	31.7	33.9	33
10	36.5	26.8	38.2	33	32	36.3
11	36.1	33.5	38.4	29	32.4	36.9
12	37.2	32.1	35.6	32.6	32.2	35.5
13	32.9	31.7	33.6	34.5	34	35.1
14	38	30.4	32.8	32.2	34.5	37
15	35.6	33	28.6	30.8	33.7	33.8
16	29.2	33.5	34.2	33.8	30.4	33.9
17	30.3	33.2	30.6	36	29.5	35.7
18	32	33.8	34.6	34.2	34.3	36.7
19	32	30.3	36.3	32.1	33.5	35.9
20	34.2	23.2	36	28.5	34.6	38
21	29.2	23.4	35.8	30.2	35.8	31.8
22	35.6	25.7	37.3	23.3	38.1	28.7
23	33.7	27.6	36.9	26.5	39.7	25.5
24	27.3	26.4	35.9	27.8	35.9	28.8
25	38.6	27	36.3	28.7	34.4	30.9
26	31	30.8	35.6	28.2	37.6	30.1
27	31	22.9	36.1	28.4	37	29.3
28	28.3	24.2	35.4	30	34.5	27.5
29	32.3	26.9	36.1	29.5	27.7	25.9
30	32.9	27.9	36.1	31	35.6	27.0
31	35.5		29.9		29.4	
<b>黄色 平均気温</b>	<b>32.8</b>	<b>30.5</b>	<b>35.1</b>	<b>32.3</b>	<b>33.7</b>	<b>32.5</b>

## 《気温と運動会・体育祭のあり方》

- 最高気温が20℃台に下がるのは  
9月20日以降



### 提案：運動会を10月に移動させる

- ・ 熱中症の不安解消
  - 運動場も体育館もWBGTで危険
  - 運動会のそもそもの目的は？
- ・ 先生方の健康への配慮
  - 高年齢の職員、配慮の必要な職員
- ・ 参観者の健康への配慮
  - テント無しでも快適な時期
- ・ 平日開催も含めてCSとして検討することによるwin-winの学校・地域の関係づくり